

建設水道常任委員会記録

令和6年7月25日（木）午前10時01分～午前10時41分（9階908会議室）

○出席委員（8名）

委員長	沢井 和宏
副委員長	石山 波恵
委員	三浦由美子
委員	斎藤 正臣
委員	小松 良行
委員	小野 京子
委員	尾形 武
委員	黒沢 仁

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

所管事務調査「市営住宅の今後の在り方に関する調査」

- 1 委員長報告のまとめについて
- 2 その他

午前10時01分 開 議

（沢井和宏委員長）ただいまから建設水道常任委員会を開会いたします。

本日、黒沢仁委員より遅れてくる旨の連絡がありましたので、ご報告いたします。

では初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

政策討論会においては、本当に委員の皆様のご協力の下、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。今後、政策討論会で出されたご意見等を基に、委員の皆様とよりよい委員長報告をまとめていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

それでは、政策討論会で出された意見や要望等をまとめましたので、資料をご覧ください。こちらの一覧表は、政策討論会における質疑や意見交換等のうち、質疑や委員会としての方向性の確認とい

った発言は除いて、意見、要望のみをまとめたものであります。こちらの資料を基に、さきの委員会で確認したとおり、次の3つの方針に基づいて、ご意見、要望をどう反映させるかについて検討してまいりたいと思います。

方針の1つ目は、委員長報告に盛り込む意見としては、委員会での所管事務調査の方向性と合うものの、2つ目は委員長報告の内容を補完するもの、3つ目は委員長報告を新たな視点で補強するものがあります。

また、検討の仕方ですが、政策討論会の中でも私のほうから説明させていただきましたが、各会派の意見、要望について、どのような形で委員長報告の中に反映するかを会派ごとに検討いただいて、文言の案を作成していただいた後に委員会において協議して、最終的に委員長報告へ盛り込んでいくという方法を取りたいと思います。

なお、公明党については意見、要望ではなく、委員会としての考え方や方向性を確認するものでしたので、こちらの一覧表には真政会、真結の会、市民21、日本共産党からの意見、要望を載せてあります。

まず、日本共産党を除いた各会派から検討結果をお聞きし、その後、日本共産党からの意見、要望については委員会全体で検討に入りたいと思いますので、よろしくお願いします。

検討を行うにあたっては、委員の皆様にご議論を深めていただくため、自由協議の形式で行い、意見、要望を委員長報告に取り入れるか否か、取り入れる場合はどういった文言にするかについて会派ごとにご検討いただいた後、検討結果をお述べいただきたいと思います。その後、自由協議のまま、日本共産党分について委員会全体で検討を行い、最終的な委員会としてのまとめ方を確認していきたいと思っております。

以上のように進めることについて何かご意見はございますか。よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) ありがとうございます。では、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより自由協議に移りたいと思います。発言許可は不要ですので、自由にご発言をいただきたいと思います。

それでは、録音を停止してください。

【この間自由協議】

(沢井和宏委員長) 自由協議を終結いたします。録音を再開してください。

ご意見ありがとうございました。確認をいたします。

それでは、今ほどご協議いただきましたとおり、一覧表の中で3番目、二階堂利枝議員ほかにもありましたご意見は、新たに住環境の整備といたしまして、8ページの(4)の④として提言を、住環境の整備については提言を入れます。

4番目としては、6ページの③に追加をいたします。職員の対応についての文言を入れさせたいと

思います。内容については、斎藤委員の答弁の中身を整理して入れたいと思います。

あと、6番の県との協定については、8ページの③の中でもう少し県との協定、連携について強調していくということです。

そして、8番も同じです。ページ8の④番。

9番が、1ページに国のと入れる。

10番が、先ほどあったように、非正規雇用という状況に置かれてきたという文言に直します。

11番が、災害時等ストックが47戸確保されているもののという言葉を入れる。

12番は取り下げて、13番が6ページの①、一層推進しつつ、事業実施効果について十分な検証を行うべきというような文言に変えます。

14、15は、具体的過ぎる部分もありますし、なかなか相容れないので、カットということです。

以上のとおり、政策討論会におけるご意見、ご要望等を委員長報告へ盛り込み、次回委員会で、正副委員長手元で作成した委員長報告の素案を確認していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) その際は、骨子も直した部分と、あと文章にした部分と2つあったほうが分かりやすいということで、そのようにします。

その他、正副委員長からは以上であります。皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) なければ、以上で建設水道常任委員会を閉会いたします。

午前10時41分 散 会

建設水道常任委員長

沢 井 和 宏